

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：岩手県立宮古北高等学校

活動名：共創力育成による学校改革 ～地域資源の活用と自己肯定感の育成～

解決すべき課題：

宮古北高校は、学年 1 クラスの小規模校である。本校に入学する生徒の約 3 割が、中学時代に不登校を経験、学習習慣がなく、中学 1 年レベルの学力も身につけていない生徒もいる。そのため、進路先の決定が、難しい。加えて、就職してもすぐに離職してしまう生徒も毎年のようにいる。

従って、学力の定着とともに、自己肯定感や有用感を育て、社会性を身につけさせることが課題である。

その課題解決のためには、学校生活の中で、共創力を身につけ、自己の可能性を見だし、地域貢献活動や復興教育の活動を通して、自己肯定感や有用感を高めていくことが必要である。

また、進路意識や自己の目標達成に向けた取り組みを可視化し、学ぶ意欲を向上させる必要がある。

加えて、習熟度別授業や AL といった授業形態の工夫等、教師の授業力の向上も必要不可欠である。

小規模校だからこそできることを念頭に、PTA、同窓会、地域、大学、NPO 等の外部の力を活用する。そうすることで、地域に対する理解や魅力を発見し、自己肯定感や有用感を育み、社会性と基礎学力を身につけさせることで地域の人材育成につなげていきたい。

目標・方針：

- 1 関係機関との連携を密に図り、生徒を地域貢献活動に積極的に参加させる。
- 2 復興教育や「総合的な探究(学習)の時間」を活用し、地域理解と地域魅力化について探究させる。
- 3 卒業後の進路を踏まえ、高大連携や企業学習会等を実施する。
- 4 授業力向上を目標に、互見授業や研究授業を行い、これまでの授業形態を見直す。

活動内容：

- 1 地域課題や地域の魅力化に取り組むことで地域理解を深めるために、「総合的な探究(学習)の時間」において「田老学(防災学習)」と震災学習列車スクールを活用して全校遠足を行った。
- 2 復興教育や避難所設営としての防災訓練を宮古市の協力を得て行った。
- 3 地域の魅力を再発見し、自己肯定感を高めために、ボランティア活動や地域の行事に参画させた。
- 4 少人数制の授業やグループワークを活用した授業を取り入れ、基礎学力の定着を図った。
- 5 キャリア教育として地元で働く若者とのワークショップや ICT 機器を活用し、遠隔授業を実施した。
- 6 さらなる自発的な取り組みにつなげるために、取り組んできた内容をあらゆる場面で発表させた。

活動の成果：

- 1 宮古観光交流協会の「学ぶ防災ガイド」に依頼し、東日本大震災だけでなく、過去の津波の被害を学ぶことで津波防災の重要性を理解し、自らが伝承していくことを認識するようになった。【資料 1】 【資料 2】
 また、震災学習列車を利用し、釜石・鶴住居を訪れ、震災時の避難の在り方について学んだ。【資料 3】
- 2 地域の行事や地域創生会議に参画することで、地域課題に目を向け、主体的に取り組むようになった。
 自分たちの取り組みが評価されることで、自己肯定感が高まった。【資料 4】【資料 5】【資料 7】

アピールポイント(アイデアや工夫)：

- 1 社会福祉協議会、漁協、市役所、NPO などから、地域の課題などをリサーチし、ワークショップを行った。
- 2 全校集会を活用し、研究成果を発表し合い、優秀なものを宮古市の地域創生会議や岩手県の復興教育実践発表会に参加し、発表させた。【資料 6】
- 3 青山学院高等部との交流会、岩手県立西和賀高等学校や山形県立小国高等学校での小規模高サミットで取り組みを発表することで、自己肯定感を高めることができた。また、他校の取り組みから新しいアイデアも生まれ、生徒の意識が高まった。
- 4 外部に取り組みを PR することで、着実に生徒数が増加し、中途退学する生徒が減少した。【資料 7】

【各種活動の様子】



宮古観光交流協会「学ぶ防災」
2019.5.20【資料 1】



2019.5.20【資料 2】



震災学習列車活用スクール
2019.7.19【資料 3】



田老大漁祭り
2019.5.19【資料 4】



避難所設営訓練
2019.10.9【資料 5】



復興教育実践発表
2020.2.4【資料 6】

【生徒と保護者を対象とした学校評価の結果(過去 3 年間の評価得点 /100)】 【資料 7】

評価項目	年度	H			R		
		29	30	01	29	30	01
魅力ある学校作りに熱心に取り組んでいる	生徒 保護者	56	79	88	84	85	93
生徒の能力や適性をふまえて指導している		60	78	88	90	91	95
卒業後の進路を考え、進路実現のサポートをしている		86	93	96	92	91	97
自分(生徒)は学校生活に充実感を感じている		56	79	92	73	86	92